

3 / 早くグラウンドで運動できますように

12 沼田小・中学校の雪割りボランティア

3月12日（木）から13日（金）に沼田小学校と中学校の雪割りボランティアを渡部建設株式会社（渡部総代表取締役）に行っていただきました。

これは同社が毎年、地域貢献活動の一環として取り組んでいる活動で、児童たちはこの雪割り作業によって早く雪が解けるのを心待ちにしています。



3 / 希望の桜をオリンピックに

25 雪氷桜プロジェクト

3月25日（水）沼田式雪山センターで北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会（越智文雄同実行委員長）等が全道から集めた約3,200本の桜の枝をコンテナに並べて雪山へ埋設しました。

このプロジェクトは2018年から始めたもので、東京オリンピックに北海道の雪と桜を贈ろうという企画です。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今夏のオリンピックは延期となりましたが、今回雪の冷気で開花を遅らせる桜は、今後北海道内のイベントで使用する予定です。

オリンピック延期を受けて越智実行委員長は「来年開催される東京オリンピックのマラソン・競歩の応援のみならず、入場行進にも使ってもらえるよう活動していきたい」と今回よりも多くの桜の枝を集めて全世界に見てもらいたいと話し、横山町長は「オリンピックの延期は非常に残念だが、引き続き来年に向けて取り組んでいきたい」と話されました。



ドキドキ、ワクワクが待っている

入園式入学式が行われました

沼田認定こども園（土肥芳子園長）で入園式が、コロナウイルス感染予防対策のため縮小して執り行われました。

式では土肥園長から「今年はいつもと違う入園式ですが、明日からお兄ちゃんお姉ちゃんが来るので、元気いっぱい遊びましょう」と園児に話され、新入園児17名（0歳児～3歳児）は一人ひとり名前を呼ばれ元気に返事をし、全園児81名の仲間入りをしました。

また4月7日（火）には、沼田学園沼田小学校（疋田博和校長）で15名、沼田中学校（米倉卓司校長）では19名の入学式がそれぞれ行われ、マスク着用や椅子と椅子の距離を離すなどのコロナウイルス感染予防対策が実施されていました。



交通安全を願って

入園児と入学生にマスコット寄贈

沼田町商工会女性部（三浦実希部長）が沼田認定こども園の園児に、また役場主婦の会（横山美紀子会長）からは、春から沼田小学校に通う新一年生に「カエルのマスコット」をそれぞれプレゼントしました。

沼田認定こども園で子ども達にマスコットを渡した三浦部長は「このカエルには無事帰るという意味が込められています。交通安全に気を付けてください。」と話けると園児たちは「ありがとうございます」と大きな声で答えていました。

また横山会長は「子どもたちが無事に通学できるよう願いを込めて作りました」とマスコットの入った箱を疋田博和校長に手渡しました。



新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症は、国内外で猛威を振るっています。

4月7日に政府は「緊急事態宣言」を発令し、その地域を全国に拡大しました。

新型コロナウイルス感染症の終息には、一人ひとりの心がけと行動が重要です。これまで以上に、「手洗い」と「咳エチケット」、さらには「密閉」「密集」「密着」しやすい環境を避けるようお願いいたします。

沼田町民が利用できる相談等窓口

◆帰国者・接触者相談センター

北海道深川保健所	☎(0164)22-1421	平日8:45~17:30
北海道保健福祉部 健康安全局地域保健課	☎(011)204-5020	24時間体制

相談窓口

保健福祉課

☎35-2120
FAX36-2005

感謝

皆で助け合って

手作りマスクを子どもたちに

新型コロナウイルスの感染拡大でマスクの品薄が続く中、商工会女性部（三浦実希部長）、町内で音楽活動をしている歌声サークル（市橋静代代表）とウクレレサークル（菅原瑞枝代表）が、コロナウイルス感染予防のため小学生に手作りマスクをそれぞれ寄贈しました。

商工会女性部員がテレビを見ていて「学校が始まるのにマスクが無い。作ることでできない保護者もいる。私たちが作ろう」と思い立ち、それから約1週間で300枚



のマスクを完成させました。商工会女性部の三浦部長は「このマスクで元気な沼田っ子でいてほしい。必要であれば追加で作ります」と話しました。

また、歌声サークルの市橋代表は「マスクが不足しているので少しでも役に立ちたい。未来のある子どもたちにぜひ使ってほしい。」と話されていました。

手作りマスクを受け取った横山町長は「子どもたちにとって心配していた環境に手作りマスクが届いたのはとてもうれしい」と感謝の言葉を述べました。

感謝

大事な時に助かります

除菌用スプレーの寄贈を受け町民に配布

3月25日(水)東京都千代田区に本社がありスプレーボトル製造販売を行うタスマン株式会社(多田宏代表取締役)と札幌市にある環境衛生会社のESI株式会社(菊池匡彦代表取締役)から除菌用スプレー1,500本を寄贈いただきました。

町に立地する予定のタスマン(株)から新型コロナウイルス感染拡大防止に役立ててもらいたいと沼田町全世帯や主要施設等に向けて寄贈いただいたもので、同日、町民体育館でESI(株)の社員等が消毒液のもととなる次亜塩素酸水生成パウダーと水道水で除菌液を作り、スプレーボトルに詰める作業を行いました。

完成した除菌用スプレーボトルを菊池代表取締役から受け取った横山町長は「ありがたい気持ちでいっぱいです。町民や学校等の各施設等にお配りしていきます」とお礼を述べました。

この除菌用スプレーは3月28日(土)から「ふれあい」ほか町内5か所で町民の方へ無料配布し、町民の方からは「消毒液を買いたくても商店に在庫が無く、配ってもらえるのは本当に助かる」「手の除菌にも使えるのでうれしい」と喜びの声が多くありました。



除菌用スプレー（次亜塩素酸水500ml）を交換、配布しています！

今回希望者に配布した除菌用スプレー（次亜塩素酸水500ml）を新しい除菌液が入ったボトルと交換しています。

日時： 当面の間、月曜日～金曜日の平日のみ。午前8時45分～午後7時00分

場所： 健康福祉総合センター「ふれあい」

方法： ①今回お配りしたスプレーボトルを空にして持参してください。

②空ボトルと充填ボトル（新しい除菌液入り）を交換します。

③数量限定のため、1世帯1本、1事業所2本までとします。

④持参の空ボトルの数以上に、新しいボトルを持ち帰ることはできません。

⑤3月下旬に除菌用スプレーを受け取られていない方で、この機会に初めて希望される方には、お渡しいたします。

⑥ご自身で「ふれあい」に来られない方には自宅にお届けしますのでご連絡ください。

4 / 3 社協と防災に関する協定を締結

災害時におけるボランティアセンターの設置及び運営の内容を明確にするため、町と町社会福協議会（松田剛会長）は「沼田町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」を締結いたしました。

4月3日（金）役場内で行われた調印式で松田会長は「胆振東部地震の際も役員や町民を派遣し対応した。今日の協定が町民の安心安全につながり、町民の防災意識を高めたい」と述べられました。



感謝

春の雪解けにありがとうございます

日本緑化中村株式会社ボランティア

4月10日（金）春の雪解けにより汚れた雨水桝のヘドロ回収清掃ボランティアを日本緑化中村株式会社（中村剛代表取締役）に行っていました。

暮らしの安心センターから役場に向かう町道約500mを作業員10名がスコップを手際よく使って作業を行い、作業を監督した渡辺禎常務取締役は「春先は雪解けで相当汚れている。今日の清掃作業で少しでも町民の皆さんが気持ちよく過ごせられれば」と話されていました。



沼田歌人会50年記念の歌集「草笛」を発刊

町内に住む短歌の愛好者でつくる沼田歌人会（市橋静代会長）が、発足50年を記念して第5歌集「草笛」を発刊しました。

歌集の中には物故会員を含め19名の作品がそれぞれ20首ずつ収録されています。

市橋会長は「短歌にはそれぞれの人柄がにじみ出ています。ぜひ手にとって見てほしい。」と話していました。

この歌集は、図書館や安心センター、ほたる館で閲覧できます。

